

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)

【公表番号】特表 2006-512550 (P2006-512550A)
 【公表日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-015
 【出願番号】特願 2004-566564 (P2004-566564)
 【国際特許分類】

F 1 6 D 69/00 (2006.01)

【F I】

F 1 6 D 69/00 G

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 4 日 (2006.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

シリンダのある部分を規定する円筒形に湾曲するブレーキシュープラットフォーム、内側支持表面および外側支持表面、ならびにブレーキシュープラットフォームの外側支持表面上に配置されるブレーキ摩擦材料マトリックスを有する改良されたブレーキシューアセンブリであって、ブレーキ摩擦材料マトリックスは摩擦表面を規定し、その改良点は、

前記ブレーキシュープラットフォームの外側支持表面から前記ブレーキ摩擦材料を介して前記摩擦表面に突き出る複数の延長部分を含み、それによって、前記延長部分は前記摩擦表面と協働して、乗り物の車輪の対向する回転部材に対して摩擦を発生させ、その結果、前記アセンブリの非常ブレーキの効果を高める、改良されたブレーキシューアセンブリ

。

【請求項 2】

前記複数の延長部分の各々は前記摩擦表面の上部で終端する、請求項 1 に記載の改良されたブレーキシューアセンブリ。

【請求項 3】

前記複数の延長部分の各々は前記円筒形に湾曲するブレーキシュープラットフォームと一体的に形成される、請求項 1 に記載の改良されたブレーキシューアセンブリ。

【請求項 4】

前記複数の延長部分の各々はシリンダの軸に対して平行に方向付けられる基部を含む、請求項 1 に記載の改良されたブレーキシューアセンブリ。

【請求項 5】

前記複数の延長部分の各々は第 1 の端縁、第 2 の端縁、および前記円筒形に湾曲するブレーキシュープラットフォームに固定される基部を含み、前記第 1 の端縁、前記第 2 の端縁および前記基部は三角形を規定する、請求項 1 に記載の改良されたブレーキシューアセンブリ。

【請求項 6】

前記基部は前記円筒形に湾曲するブレーキシュープラットフォームと一体的に形成され、前記基部は曲げ軸を規定する、請求項 5 に記載の改良されたブレーキシューアセンブリ。

。

【請求項 7】

前記複数の延長部分は、前記円筒形に湾曲するブレーキシュープラットフォームの円周の中心線の対向する側に対称的に配置される少なくとも２つの円周列を規定する、請求項１に記載の改良されたブレーキシューアセンブリ。

【請求項 ８】

前記複数の延長部分の各々は前記円筒形に湾曲するブレーキシュープラットフォームの特有の円周弧上に配置される、請求項１に記載の改良されたブレーキシューアセンブリ。

【請求項 ９】

前記複数の延長部分は前記円筒形に湾曲するブレーキシュープラットフォームの円周の中心線のまわりに対称的な少なくとも１つのパターンを規定する、請求項１に記載の改良されたブレーキシューアセンブリ。

【請求項 １０】

前記複数の延長部分は前記円筒形に湾曲するブレーキシュープラットフォーム上に不規則に配置される、請求項１に記載の改良されたブレーキシューアセンブリ。